

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成20年度事業分)

施設名		山梨県立なかとみ青少年自然の里			
指定管理者		身延町		所管課	社会教育課
指定期間		平成18年4月1日～平成23年3月31日			
施設の使命・役割(運営目標)		自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。 主催事業の実施を通じ、自然の中でふるさとを愛するたくましい青少年を育成する機会を提供すること。			
指定管理者が行う業務		利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 地域における生活文化の体験学習に関する業務 野外観察、自然探究その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 野外活動及びレクリエーションに関する業務 その他教育委員会が必要と認める業務			
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価	施設利用者が安全かつ快適に利用できるように、職員及び専門業者による施設内外の保守点検・整備を行った。今後も引き続き自主点検や業務委託により保守点検・整備を行っていく。			
	施設所管課の評価・指導内容	概ね計画に基づき、適切に実施されていた。今後も、協定書、業務計画書、各法令等に基づく各業務を執行していくこと。			
運営業務の評価	指定管理者の自己評価	ホームページを随時更新したため、新規の利用希望団体が増えた。日常では体験できない自然体験・生活体験・交流体験・創造体験等を行えるよう、利用者への指導や支援及び食事の提供を行った。			
	施設所管課の評価・指導内容	概ね良好に運営業務が執行されていた。今後も、協定書、業務計画書、各法令等に基づく各業務を執行していくこと。			
自主事業の評価	指定管理者の自己評価	生涯学習を支える社会教育施設として、小学生以上の幅広い年齢層の方々に学習の機会を提供することができた。年齢や職種など幅広い一般参加者からの利用後のアンケートなどから今後の施設運用の参考とすることができた。今後も新しい事業を取り入れ、多くの方々に利用していただけるよう努力していく。			
	施設所管課の評価・指導内容	今後も、事業計画書等に基づいた適正な業務執行に努めること。			
利用者満足度調査	調査結果	満足度		利用者の声	
	評価	施設までのアクセス 6割以上満足 貸出用の道具、宿泊室、トイレ・浴室・洗面、備品、設備の整備状況 9割以上満足 申込方法、利用料金、活動プログラム 9割以上満足 食事の内容、料金、時間 8割以上満足		インターネットで予約ができればよい。キャンプ場まで中型バスが入れると良い。活動プログラムについては、予約の段階から何度でも対応していただき、ありがたかったです。施設の整備については、手入れが行き届いていて素晴らしい。職員の方々の行き届いた指導に感謝します。児童達からも「また来たい」という声が上がりました。	
利用者数	指定管理者の自己評価	利用者が申し込みやすいよう随時職員で検討し対応していく。新しい活動プログラムを随時開発し、提供する。リピーターや新規利用団体を増やし、利用者の拡大を図る。新事業を増やして、より多くの方々に参加していただけるように営業活動をしていく。利用者が気持ちよく利用できるように、職員全員で努力していく。			
	施設所管課の評価・指導内容	利用者の評価は良好であった。今後も、利用者の意見を参考にしながら、改善できる点は改善し、一人でも多くの利用者に満足してもらえよう、各業務を行っていくこと。			
利用実績	利用者数	H19年度実績(人)	H20年度計画(人)	H20年度実績(人)	H21年度目標(人)
	評価	7,700	8,300	8,531	8,300
収支の状況	科目	H20年度計画額(円)	H20年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H21年度計画額(円)
	収入				
	利用料金収入				
	指定管理料	20,785,000	20,785,000	0	20,617,000
	その他収入	0	6,000	-6,000	0
	計	20,785,000	20,791,000	-6,000	20,617,000
	支出	20,785,000	20,123,496	661,504	20,617,000
	差し引き(収入-支出)	0	667,504		0
施設の運営目標の達成状況	指定管理者の自己評価	H20 利用者数目標値 8,300 実績 8,531 H20 主催事業参加者数目標値 580 実績 517 利用者数は、平成20年度計画を上回る実績であった。主催事業参加者数は目標数を下回ったものの、前年度実績よりは増加している。自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場の提供、及び主催事業の実施を通じ、自然の中でふるさとを愛するたくましい青少年を育成する機会の提供という施設の使命・役割(運営目標)を日々果たしている。			
	施設所管課の評価	今後も、事業計画書等に基づいた各事業を工夫しながら実施し、経費節減、費用対効果に留意しながら運営していくこと。			
総合的な評価及び改善事項		利用者数については、平成18年度、平成19年度は7千人台だったが、施設が魅力ある体験事業を企画、実施したことにより、平成20年度は概ね直営時に近い利用者数を確保できた。現地確認したところ、施設内外とも管理がよく行き届いていた。維持管理業務・運営業務については適正に実施されており、利用者満足度調査については評価(満足度)が良好であった。今後も、主催事業等を工夫しながら実施し、経費節減、費用対効果に留意しながら、継続して積極的なPR活動を行うなど、利用者増加に向けて運営していくことが必要である。			